

関係者のみなさま

## 公開研究会のお知らせ

科研費事業として2024年度から実施している「識字・基礎教育の領域横断的日韓比較研究—新たな格差と危機の解明と対応方策の提案—」（基盤研究(B)、2024-2027年度、代表：金侖貞）において、コロナ禍において識字・基礎教育の現場において何が起きたのかを明らかにするための調査に取り組む準備をしています。基礎教育保障学会にも協力いただきながら、調査研究を進めていきます。

新型コロナウイルス感染拡大期の困難や課題、それらへの対応などに関する意識が薄まっていく中で、当時何があったのか、私たちはどのように対応してきたのかについて、丁寧に記録を残しておくことが求められます。そのことによって、これから到来するパンデミックなどの状況に対して、有効な対応策を提示することができると考えます。

日本では、公立・自主の夜間中学、地域日本語教室、識字講座などの識字・基礎教育保障の場を対象にして、上記の問題意識にもとづくアンケート調査を2025年に実施予定です。本アンケート調査を実施するにあたって、下記のとおり「公開研究会」を開催し、学習者、実践者、研究者などそれぞれの立場から、本アンケート調査の内容や実施方法などに対してご意見いただきたく考えております。

新年早々お忙しい時期ではあると思いますが、みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

### 記

- ・日時：2025年1月25日（土曜日）10時～12時
- ・実施方法：オンライン実施（使用ツール：Zoom）
- ・内容：「新型コロナウイルス感染症の影響に関する識字・基礎教育実態調査」（アンケート調査）の内容や実施方法などの検討
- ・申込方法：研究会への参加を希望される方は、**1月20日（月）までに金(jykim@tmu.ac.jp)宛てに、「①お名前・②ご所属・③メールアドレス」**を添えてお申し込みください。開催3日前（1月22日（水））までに、お知らせいただいたメールアドレス宛てにZoom情報及び資料データを送付いたします。
- ・問い合わせ先：東京都立大学教育学教室・金侖貞（jykim@tmu.ac.jp）